



## 「ふくおか村」から福岡へお見舞いが届きました



(黙祷をしている「ふくおか村」の皆様)

2004年の12月末に発生したスマトラ島西方沖大地震後に、全国の皆様からのハビタットに寄せられた義援金、日本政府、関西学院大学の支援で約47世帯の「ふくおか村住宅支援事業」が開始されました（内、義援金による支援は29世帯）。現在では立派なコミュニティが誕生しています。

先日、9月20日に九州・福岡を直撃した台風13



(完成したふくおか村の住宅)

号で亡くなられた9名の方々、ご遺族、また被災した方々にお悔やみとお見舞いの意味をこめて黙祷している写真が、ふくおか村よりスリランカのハビタット事業事務所を通してアジア太平洋事務所に届けられました。

「被災」という同じ体験が人々を結びつけ、新しいきずなが生まれました。

（資料提供：国連ハビタット・アジア太平洋事務所）

## カンボジアの「命の水」プロジェクト

カンボジアの「命の水」プロジェクトとは、プノンペン市のスラム地域を対象に住民の生活改善や雇用促進、建設技術の向上を目的として、国連ハビタット・アジア太平洋事務所が実施する事業です。この度の事業は、住民との話し合いのもと「手押しポンプ付き井戸建設」「コミュニティ生活道路整備＆フトビレッジ建設」「コンクリート道路建設＆排水溝整備」を3地区、5箇所で実施いたしました。これらの事業のうち、ダンコール地区 1986 コミュニティとダウンベン地区的事業は、国際ロータリークラブ第2510地区と2006年2月に札幌で行なわれたチャリティトーク＆ライブショーに参加された北海道の善意ある方々のご寄付で、ダンコール地区グループ3 コミュニティおよびチャムカモン地区的事業は国際ソロブチミスト札幌フレンズ 10周年記念事業のご寄付で実施されました。

（資料提供：国連ハビタット・アジア太平洋事務所）



(井戸建設の為の穴掘り)

～改善後のカンボジア・スラム 3地区を視察して～

「なんと表現したらよいのかしら、本当にありがとうございます」「感謝の気持ちでいっぱいです」「子どもが安全に通れるようになったのです・・・次々と感謝の言葉が住民たちからあふれ出る。目にいっぱいの涙をため、祈る女性、喜びを唄で表現したいと、歌い始める住民・・・。幾多にもわたる「感謝の気持ち」が伝えられ、今回のプロジェクトが住民たちにとって大きな役割と意味を持つものであったと心から実感しました。この住民たちから受け渡された「感謝」という大きな、そしてずつしりと重いこの感覚をしっかりと日本へ持ち帰り伝えなくては、と心に誓う視察となりました。（志牟田 裕子）



(ダン・コール地区、コール・ロカ小地区、スペイ・チエクグループの住民)

## 国連ハビタット・世界都市フォーラム in カナダ・バンクーバー

「私たちの未来：持続可能な都市～アイデアを行動に～」

2年に一度開催される国連ハビタット主催の世界都市フォーラムが、2006年6月19日～23日の5日間、カナダ・バンクーバーのコンベンション・センターで盛大に行われ、開催期間中100ヶ国以上の国より政府、地方公共団体、専門家、研究機関、民間、NGO、学生や一般の方々が約10,000名参加されました。

今回、日本ハビタット協会は、日本政府（国土交通省）のブースをお手伝いすることとなりパネルやパンフレットを使った展示活動をEXPOSITIONホールで行いました。



## 国連ハビタット人間居住専門官講演会報告

国連ハビタットの活動をより多くの方にご理解いただきたいと、2006年5月18日、東京の麹町区民館（午後）、

横浜のパシフィコ横浜国際協力センター（夜間）の2会場で国連ハビタット・アジア太平洋事務所の佐藤摩利子人間居住専門官の講演会「国際機関で働く～女性にやさしいまちづくりを目指して～」を開催しました。参加希望多数のため一日に東京、横浜の二箇所の会場での開催という過密スケジュールでしたが、両会場とも満席となり、会場からの意見も多数寄せられて熱のこもった講演会となりました。

互いに助け合う信頼関係を築き、コミュニティを強化していくことが総ての人が安心して暮らす社会のために大変重要であるというお話を、大きくななく方が多数いらっしゃいました。皆様から「気の満ちた会でした」「ハビタットの活動や理念を深く理解することができた」「自分の信念や思いを行動に変えていくことの重要性を強く感じた」等のご意見が寄せられました。この会への参加をきっかけに募金箱の配布やボランティアへの参加等、ボランティアに熱心に取組んでいらっしゃる方も増えています。ご参集くださいました皆様方に心から感謝申し上げます。現在、佐藤摩利子専門官は国連ハビタットのジュニア事務所に勤務しています。



(東京会場：麹町区民館にて)



(横浜会場：パシフィコ横浜)

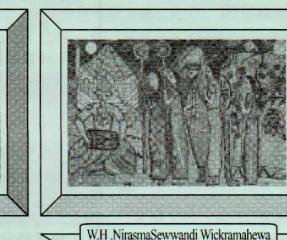
感謝申し上げます。

「2006年絵画テーマ：未来に残したい私たちのまち」

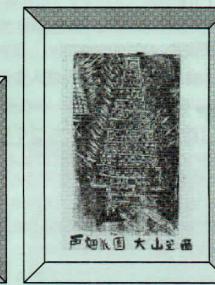
世界ハビタットデー・記念絵画コンクール  
日本ハビタット協会賞・受賞作



Tatiana Terentyeva  
ロシア 4年生



W.H. Nirasna Sewwandi Wickramahewa  
スリランカ 5年生



田畠 圭涼  
北九州市立清水小学校 4年生

## \*カレンダー募金で国際協力\*

～1口 1000円の募金でもれなくカレンダー差し上げます。～



日本ハビタット協会は、世界ハビタットデー記念絵画コンクールの優秀作品で構成された「ハビタット・カレンダー2007」を製作し、1口1,000円の募金でカレンダーを、もれなく進呈いたします。今年のカレンダーは世界ハビタットデー記念絵画コンクール「未来に残したい私たちのまち」の優秀作品で構成されています。これらの収入は、国連ハビタットのアジア太平洋における「紛争・災害後のまちづくり」再建復興事業として使用させていただきます。(今年のカレンダーは、絵画部分が、ポストカードになります！)

カレンダー募金のお申込・お問合せは、最終ページの連絡先にお願い致します。



サイズ：タテ×ヨコ 約20cm  
立掛け・壁掛け両用タイプ